



静岡県教育委員会
教育広報誌

Eジャーナルしずおか

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

令和3年(2021年)
3月5日
金曜日
第233号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追分町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県学校安全教育目標

“命を守る力”を育てる ～学校安全計画推進のために～

静岡県教育委員会では「自他の命を守るための適切な判断・行動ができる人」を育てることをねらいとし、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の学校安全3領域の要素などを盛り込んだ体系図を示し、発達段階に応じて身に付けてほしい資質・能力をわかりやすく、明確にした「静岡県学校安全教育目標」を策定しています。



各教科の安全教育 実践例 ～小学校～

●小学校5年/社会科

自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることや、国や県などがさまざまな安全対策を実施していることを理解し、災害から自らの判断で確実に身を守るができるようにする。

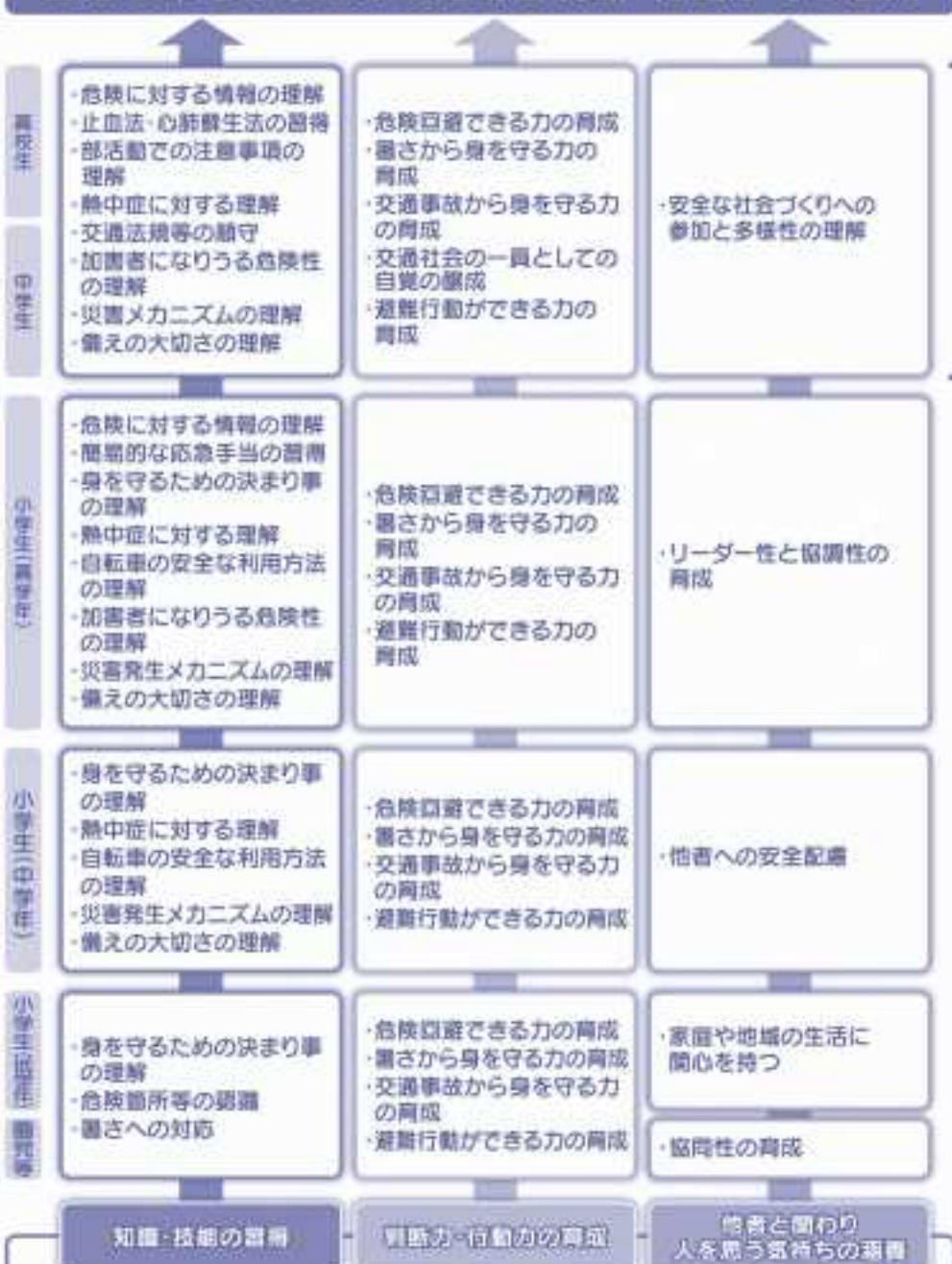


●小学校低学年/生活科

学校生活や通学路の安全を支えているさまざまな人について理解し、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりすることができるようにする。



自他の命を守るための適切な判断・行動ができる人



各教科の安全教育 実践例 ～中学・高校～

●高等学校/保健体育

適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できることや、応急手当には、正しい手順・方法があることを理解するとともに、事故や災害発生時には、自他の命を守るために率先して応急手当を実施することができるようにする。



●中学校/理科

気象の変化がもたらす恵みと災害について学習することで、地域特有の気象災害を理解することにより、確実に自らの判断で身を守るができるようにする。



●中学校/技術家庭科

家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間について学習し、事故や自然災害などに備えた、理想的な住空間の工夫について考えることができるようにする。



【健康体育課】



「静岡県学校安全教育目標」の詳細についてはこちら

※学校安全計画作成時の参考資料としてご利用ください。

- 学校安全の3領域
- ◎生活安全: 学校、家庭などの日常生活で起こる事件・事故(誘拐や傷害などの犯罪被害防止、熱中症などの健康被害防止も含まれる)
 - ◎交通安全: 様々な交通場面における危険と安全、事故防止
 - ◎災害安全: 地震、津波、風水害、火山、火災、原子力災害
- 今後想定される新たな危機
- ◎国民保護の観点など: 学校への犯罪予告、周辺でのテロの発生等

東日本大震災から今年で10年が経とうとしています。南海トラフ巨大地震が想定される本県にとって、この震災の教訓を風化させないためにも、各学校が策定する学校安全計画を通じて、全ての教職員が共通理解のもと、教科横断的な視点で学校安全教育を実践してください。



実践NOTE

教科担任制で一人一人のよさが輝く

浜松市立中郡小学校 教諭 浅野 慶太郎

高学年つて大変

「高学年の担任は忙しいです。高学年の学習指導は自信がありません。高学年の子供とは人間関係づくりがなかなかうまくいきません。小学校の教員をしていて必ずと言っていい程、ぶつかる瞬間はないでしょうか。私自身も、実際に感じていたことです。」



授業

教科担任制との出会い

本校は、平成30年度、令和元年度の2年間、浜松市教育委員会より「小学校高学年における教科担任制」の研究指定を受けました。私はこの2年間、5・6年生の学級担任及び社会科の教科担任を担当することになりました。

未知の領域

小学校教員の私たちが、教科ごとに担当が入れ替わる教科担任制は未知の領域でし



教科担任制

教員が輝く

いざ授業が始まってみると、驚きと発見の日でした。単純ながらも、同じ授業を繰り返し行うこと自体が新鮮に感じました。そして何よりも強く実感できたことは、自分の指導に対する「自信」でした。

この自信は、一つの教科に特化した効率的な教材研究と、教科担任としての自覚からもたら



社会科の授業

また、生徒指導では、一人の子供に教科担任や学級担任など多くの教員が関わることで、多面的に子供を理解することができました。各教科の授業での良い表れを付箋に書き、教員間で共有したことで、学級担任が気付けなかった子供の新たな一面を見付け、称揚することができました。

そういった中で私達の意識は「学級担任」から「学年担任」へと変化していきました。

子供が輝く

教員が変わると子供が変わる。私たち教員の意識の変化により、子供の表れも大きく変わってきました。その一つが「教科係」です。教科係

とは、教員の指示をクラスに伝える連絡係に留まらず、授業が円滑に進むようにクラスをまとめるリーダーとしての役割を持たせた取り組みです。5・6年生の全員を係に割振り、各教科担任と密に連絡を取りました。授業後には、教員が授業態度や取り組みの様子をABCの3ランクで評価し、教科係に伝えました。教科係は、帰りの会で教員の評価に自分なりの意見を添えてクラス全体に伝えました。

この教科係の取り組みにより、授業や学校生活は自分たちで創り上げるものだという子供の大きな意識改革につながりました。また、子供の責任感と社会性を育むこともできました。



教科係の様子

今後

中教審より、令和4年度から小学校高学年教科担任制を導入するよう答申されました。このことは教科担任制を推進してきた私たちにあって、大きな自信となりました。

今後、教科担任制が小学校教育のスタンダードになることを見据え、引き続き、実践を続けていきたいと思っております。

実践NOTE

保健の授業が生涯を通じて活かされるために

静岡県立浜名高等学校 教諭 横山 崇

保健の授業

保健の授業は、生きていく上で非常に重要な内容を含んでいます。これからは生きていく高生には是非でも知っておいてほしい知識であり、あらゆる場面において、健康的で、適切な意思決定と行動選択をしてほしいと切に願っています。

健康とは?

健康という概念について、いろいろな立場を想定して「健康とはどういうことか」という問いを生徒に投げかけます。生徒たちは「一生懸命考え、生きがいや生活の質が大事なのではないか」などの意見を交わします。最後に「では、君たち、高校生としての健康とは?」と問いかけます。そうすると「日々、授業を受けて、部活動等に邁進すること自体が健康と結論に導かれます。」



ペアワーク

「がん」という病について

がんを取り上げるときには、まず、筆者の経験談

を話します。「数年前に母親をがんでなくして、がんに対する悔しい気持ちを抱いたけど、きつと数年後には、世の中のがんに対する考え方が変わっているだろうと期待しているんだよ」と。

生徒は「なぜ?」という顔をしてこちらを見てくれます。ここから「がん教育」を始めます。がんにならないことを学習するだけではなく、がん患者との向き合い方や、共に生きていく社会の在り方を学んでいきます。涙を流しながら、話に聞き入る生徒もいます。



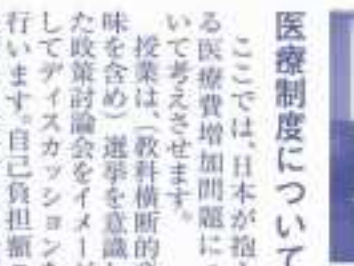
真剣に聞く生徒

男女で考える妊娠と出産

「これは女性だけのことではない。むしろ男性が正しく理解することこそがとてつもなく大事なことだ!」と喧嘩した姿勢で授業に臨みます。性意識や性行動とも関連し、非常にプライベートな内容も含みますが、とても緊張感あふれる授業になります。

このように話を進めると、最後に強調する「すべては『思いやり』ではないかな」という言葉が、スッと生徒の心に入り込んでいるように感じます。

「健康であることで働くことができるが、働くことで健康になれるとも言える。これは幸せなスパイラルだと思う」と、生徒から堂々たる発言があったときは、とても感動しました。



説明する筆者

医療制度について

ここでは、日本が抱える医療費増加問題について考えさせます。授業は、「教科横断的意味を含め」選挙を意識した政策討論会をイメージしてアイスキャッションをを行います。自己負担額の変更が、保険料の増額が、新たな財源を生み出すか?生徒たちは、既習の知識を活用し、正解のない問いに対して意見・反論をおつけ合います。



意見を主張する生徒

生涯を通じて心身の健康を保持増進するために

必要な知識を身に付けるだけでなく、実際の生活に活かす能力が必要不可欠です。これからも、生徒たちが授業内容を自分のことと捉えて、思考・判断・表現できるように、また、心に訴えかけるように、働き掛けていきたいと思っています。

自分中心の考え方で限界があることを学び、社会全体の利益に目を向ける大人になってほしいという願いがあります。KAROSHI(過労死)をなくそう

「KAROSHI」が英語辞書に掲載された理由を踏まえ、日本人になぜ過労死が多いのか、過去の事例などを材料にして、健康的に働くためにはどういった資質が必要なのかをグループで考えます。「社会背景や、経営者側の問題である」と短絡的な結論にならないよう指導・助言をしながら、近い将来社会に出て働く自分をイメージして、ワーク・ライフ・バランスが整った理想像を作っていきます。

「健康であることで働くことができるが、働くことで健康になれるとも言える。これは幸せなスパイラルだと思う」と、生徒から堂々たる発言があったときは、とても感動しました。



KAROSHIを講ぐSGW

4月2日は「世界自閉症啓発デー」 4月2日~8日は「発達障害啓発週間」です

静岡県 啓発デー 授業

自閉症を含む発達障害のある方の多くは、脳の働き方の違いから、対人関係やコミュニケーション等を苦手と感じています。一方で、興味のあることには豊富な知識を持ち、高い集中力を発揮する方もいます。同じ発達障害でも、その特徴は1人1人違います。

この期間中は、さまざまな形で、啓発メッセージが発信されます。自閉症や発達障害の方々の暮らしやすさのために、私たちができることを考えてみませんか?

【障害福祉課】



World Autism Awareness Day

研修に参加したいけれど終日参加は難しいという教職員の方々へ 「web聴講」をご検討ください!!



web聴講は、
こんな
先生に
オススメです。

- 遠方のため終日出張が難しい先生
 - これまでと同じ研修に参加したことがある先生
- 研修内容や講演講師が変更されていたら、
新たな学びが得られます。

「ハーツweb聴講!!」

web聴講とは、オンライン上で研修の講義・講演のみを聴講するものです。受講者のご都合やそれぞれのニーズに合わせてご利用ください。

- その1** ~自己研鑽に活用~
日々の業務に追われ、新しい知識や情報が習得できないという方は、短時間で聴講してはいかがでしょうか。
- その2** ~校内研修で活用~
校内研修をやりたいけど、準備が大変!そのような方はweb聴講をご活用ください。
- その3** ~他校種の講義を聴講~
一部の講義は校種を問わず参加が可能です。見聞を広げるのに最適です。



web聴講 Q & A

- Q** web聴講だとパソコンを使用するので難しいですか?
- A** どなたでも簡単に操作できるよう、令和3年度研修ガイドブック(令和3年3月末に各学校に配布予定)で聴講形態別に聴講方法を説明してあります。また、センターホームページでも聴講方法を分かりやすく紹介する予定です。

静岡県総合教育センター [検索](#)
【静岡県総合教育センター】

警告! 「大麻」乱用 急増中!

近年、大麻事犯が増加(グラフ1)し、特に若者の検挙が急増しています。令和2年は、大麻検挙人員の7割近くを10代、20代が占め(グラフ2)、若者への大麻まん延は危機的状況です。

【グラフ1】県内の大麻検挙人員の推移(過去5年間)



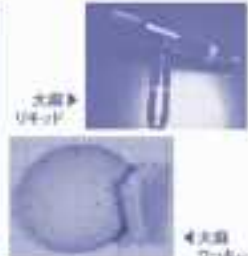
【グラフ2】大麻検挙人員年代別割合(R2)



大麻は「ゲートウェイ・ドラッグ」とも言われ、若者にとって、罪悪感や抵抗感が薄く、大麻を「入口」として、覚醒剤などより中毒性の高い薬物の乱用につながっていきます。「一度くらいなら」と手を出してしまうことで、失うものはあまりに大きく、その後の人生そのものが変わってしまいます。

児童生徒が大麻に手を出してしまわないための啓発のポイント

1. 大麻乱用は「犯罪」という認識を持つ。
2. 大麻について正しい知識を持つ。
3. まずは大麻に近づかない。誘われてもはっきり断る。断りづらいときはその場を離れる。
4. 薬物で困ったら、最寄りの警察署や行政の相談窓口、身の周りの信頼できる大人に相談する。



薬物乱用通報・相談窓口(県警課線): 054-221-3317

皆さんの教え子から将来の「薬物乱用者」を出さないために…日頃からの啓発をお願いします! 【警察本部生活安全部少年課・健康福祉部生活衛生局薬事課】

日本語指導が必要な子供たちのために ~外国人児童生徒等トータルサポート事業~

本県では、日本語指導が必要な子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、日本語指導コーディネーター及び外国人児童生徒相談員を派遣し、子供たちや保護者、教職員をサポートしています。

【日本語指導コーディネーターの支援内容】

日本語指導コーディネーターは、子供一人一人の状況に応じた日本語支援体制づくりや特別の教育課程の編成・実施について助言します。また、市町教育委員会で実施する研修会や校内研修等の講師となり、教職員をサポートします。

日本語指導担当教員より

支援前 初めて担当となり、日本語指導が必要な子供たちの日本語能力に合わせた指導をしているが、本当にこれでよいのか不安である。

支援後 日本語能力の判定や各級学習との連携についての疑問に答えてもらい、関係に合わせた日本語指導の資料の紹介を受け、指導の参考になった。

校長・教頭より

支援前 日本語指導が必要な子供が複数存在している。特別の教育課程の編成を含め、校内全体で、日本語支援体制について考えていきたい。

支援後 校内研修後、学校全体で日本語指導への理解が深まり、日本語指導担当者や学級担任との連携も円滑になった。

【外国人児童生徒相談員の支援内容】

中国語・スペイン語・ポルトガル語・フィリピン語などでの支援に対応しています。外国人児童生徒相談員は、主に学校生活や学習の支援を母語で行います。また、保護者と学校とのコミュニケーションを図り、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにします。

日本語指導担当教員より

支援前 日本語力について、ある程度の会話ができるが、本当に子供の気持ちを十分に聴けているか不安に感じ。

支援後 日本の文化に戸惑っていることが分かり、校内での支援につながった。児童は、現場で気持ちを聞いてもらえる時間をとても楽しみにしている。

学級担任より

支援前 生徒が母語もできるため、保護者との面談の通訳は主任がしている。ただ、今後の新設は基盤に関わる内容なので、第三者に通訳を依頼したい。

支援後 本人を介さず通訳してもらったことで、基盤に関する保護者の思いが聞けた。また、経済面での変更の方向性についても丁寧に話をすることができた。

【静岡・静岡西教育事務所】

「静岡どぼくらぶ」講座の募集!

「静岡どぼくらぶ」講座を開催してみませんか? 講座は、「建設現場体感見学会」と「出前講座」の2種類があります。

◆建設現場体感見学会◆
~各地域の工事現場やインフラ施設見学~

最寄りの場所から大規模な工事現場まで、海、山、川、道路など様々な工事現場、インフラ施設の見学を実施します。

◆出前講座◆
~地域を支える社会インフラを学ぶ~

県・市町の技術職員や市内建設業者等が土木の仕事内容や社会的意義、やりがいをお伝えし、ICT(ドローン・レーザー)の実演など最先端の土木業界も紹介します。

「静岡どぼくらぶ」講座の申し込みについて

募集期間: 随時(開催希望日の2か月前までにご応募ください)。
開講期間: 2021年6月末~2022年3月末まで
申込方法: 右記QRコードから申込用紙をダウンロードし、必要事項を記載の上、下記お問い合わせ先までメール又は郵送でお送りください。
その他: 現場見学会は半日又は1日、出前講座は45分から実施できます。現場見学会の移動費用(バス代)は補助できる場合があります。講座の講師料は不要です。



※申込数が多い場合や、他の業務等で希望日に対応できない場合は調整させていただきます。

R2年度開講実績 (R2.12時点)

●小学校 ・富士宮市立萬田小学校 (6年生102名) ・富士宮市立大富士小学校 (6年生155名) ・静岡市立豊田中部小学校 (6年生 95名)	●高等学校 ・静岡農業高校 (3年生43名) ・浜松工業高校 (1年生40名) ・静岡工業高校 (1年生41名) ・静岡東高校 (1,2年生47名) ・科学技術高校 (1,2年生80名)
●中学校 ・森町立瀬が丘中学校 (2年生86名)	

応募いただき
ありがとうございました!

工事中がみらいをつくる!
静岡県交通基盤部
(お問合せ先) 建設課課 (〒420-8601 静岡市東区環宇町9番6号)
TEL: 054-221-3057
Eメール: keisetsu@pref.shizuoka.lg.jp

統計出前講座

統計利用課では毎年小学生から大学生までを対象に、職員が学校等へ出向き、統計出前講座を実施しています。急速に進展する情報化社会の中、さまざまな課題に対して正しい判断・行動を取るために統計知識を身につけることが重要となっています。

本講座は、各教育年代に並び、クイズやグラフ作成、データの取得と活用等を中心に統計を身近に感じ、親しみが持てる内容となっていますので、ぜひご活用ください。

- 対象** 小学生(3年生以上)、中学生、高校生、大学生
- 募集案内** 県ホームページの「県政出前講座」、県統計ホームページ「統計センターしずおか」及び「静岡県生涯学習情報発信システムまなぼっと」に掲載。



令和2年度統計出前講座

「Myしずおか日本一」のリーフレット好評配布中!

「Myしずおか日本一」のリーフレットは、統計からみて静岡県が日本一のものを選んで掲載しています。A4サイズ、カラー写真で静岡県の主要産業が一目で分かります。また、英語・中国語・ポルトガル語・韓国語・スペイン語・モンゴル語版もあります。地域学習の補助教材や身近な統計の例としてぜひ授業にお役立てください。リーフレットの配布希望は下記までご連絡ください。

なお、「Myしずおか日本一」は、ホームページでも見ることが出来ます。リーフレットに載せきれないデータや項目も掲載されているのでぜひ併せてご覧ください。



「Myしずおか日本一」リーフレット

問 経営管理部ICT推進局統計利用課
(TEL) 054(221)2242 (FAX) 054(221)3609
ホームページは [こちら](#)

地域学校協働活動 事例紹介

地域学校協働活動とは、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動

「しずおか寺子屋」学習支援

「しずおか寺子屋」って何?

平成29年度から始まった「しずおか寺子屋」は、児童生徒が家庭において主体的に学習に取り組む習慣を身に付けることができるよう、地域の教育力(地域住民、教員OBや大学生等)を活かし、学校と連携しながら実施する放課後等の学習支援です。

地域住民や教員OB等に加え、子供にとって身近な大学生や中高生等が学習支援員として参加することで、児童生徒の学習意欲の向上だけでなく、支援員として参加した学生のキャリア形成にも好影響を与えるなどさまざまな効果が報告されています。

「しずおか寺子屋」実施市町拡大中!

スタート時は三島市・島田市・袋井市の3市での取り組みでしたが、令和2年度からは新たに熱海市・富士宮市・御殿場市・裾野市・東伊豆町・南南町を加えた県内9市町で県と連携した事業を実施しています。

本年度から開講した「稲取小寺子屋」(東伊豆町)では、夏休みの宿題を地域の大人や大学生・高校生が支援する形で実施しました。参加した児童やその保護者からは、「楽しかった」「宿題がはかどった」などの感想が寄せられています。また、「すそのん寺子屋」(裾野市)に参加した大学生からは、「学習支援を通じ教育職に興味を持った」との感想がありました。

県では、こうした取り組みが広がるよう、各市町や大学等と連携・協力し事業の普及促進を目指していきます。

学生の学習支援員を募集しています

お近くに学習支援ボランティアに興味がある大学生等はいらっしゃいませんか。県では、学習支援員を希望する各市町「しずおか寺子屋」とのマッチングや、体験講座を開催しています。詳しくは、県ホームページをご覧ください。



保護者の不安や悩みを解消する 交流会型 家庭教育講座

を開催しませんか?



コロナ禍の影響で、保護者が家庭の教育について気軽に話せる場が減っています。

不安や悩みの軽減には、保護者同士が語り合い、共感し、認め合う「交流会型家庭教育講座」が有効です。感染予防対策を工夫しながら、開催してみませんか。

- どんな講座?** 少人数グループの「井戸端会議」のような話し合い
- いつやるの?** 保護者会、懇談会、家庭教育学級、入学説明会など
- だれが進行?** 家庭教育支援員、PTA役員、学校の先生、地域の子育て支援者など
- どんなテーマ?** 生活習慣、褒め方・叱り方、親の心構え、いじめ、ケータイ・スマホルールなど

家庭教育支援員の活用で先生方の負担軽減が可能です。講座開催のご相談や派遣依頼は、各市町の生涯学習・社会教育主管課へ。

【社会教育課】



「第2期静岡県教育委員会ワーク・ライフ・バランス推進計画」を策定しました!

県教育委員会では、令和2年3月に「第2期静岡県教育委員会ワーク・ライフ・バランス推進計画(WLB計画)」を策定しました。

WLB計画では、目標として、「男性の育児参加休暇等の取得率100%」(参考:令和元年度実績73.4%)と「男性の育児休業の取得率」13%(同5.8%)を掲げています。

今回の「私の育児休業生活」では、男性教員の育休体験談を取り上げましたが、体験談にもありますように、休業・休業の取得には職場の理解と協力が欠かせません。職場全体で子育てしやすい環境づくりに向けて取り組んでいきましょう。

県教育委員会教育総務課HPに本計画を掲載していますので、ぜひご覧ください。

※専業主婦教職員を除く 【教育総務課】

私の育児休業生活 「かけがえのない時間」

静岡県立遠江総合高等学校教諭 原口 博之



四月の始めから職場復帰する毎日でした。それまで妻に任せていた育児が一変、自分がやらなければならないことになりました。妻は産後、体が弱く、家事も全て引き受けてくれた家事を、自分がやらなければならないことになりました。妻は産後、体が弱く、家事も全て引き受けてくれた家事を、自分がやらなければならないことになりました。妻は産後、体が弱く、家事も全て引き受けてくれた家事を、自分がやらなければならないことになりました。



学校に復帰してからは、私が育休を取ったことが生徒らの生きた教材となり、ジェンダーについて考えるきっかけになりました。そして生徒たちが親になる頃には、男女関係なく育児しやすい社会になり、そして気兼ねなく育休を取れるような環境になってほしいと思います。

静岡県でお仕事されている先生限定

無料相談会のお知らせです

iDeCo・NISA で作る自分年金

「老後の資産が不安だから資産運用したい」という方が増えています。しかし、資産運用を始めるには何から始めたらいいかわからない…。そんな方にお勧めなのが、「iDeCo」と「NISA」です。詳しくは無料相談でお伝えします。

【開催日】
好評につき
期間延長!
2月1日(月)～4月30日(金)

無料相談は3つの方法から選べます

- ①電話相談
- ②ウェブ相談(ZOOM)
- ③直接お会いしての相談



無料相談のお申し込み

電話か右記コードからお申し込みください

☎ 0120-104-667

(受付/平日9:00～17:00)



広告

BURG ASSET 株式会社ブルクアセット

浜松市中区東治町319-28 遠鉄東治町ビル11F

ブルクアセット

本報の発行所は、株式会社ブルクアセット(静岡県浜松市東区東治町319-28)です。本報の発行所は、株式会社ブルクアセット(静岡県浜松市東区東治町319-28)です。本報の発行所は、株式会社ブルクアセット(静岡県浜松市東区東治町319-28)です。